

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-175591

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月2日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

Z

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-336723

(22) 出願日 平成9年(1997)12月8日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 菊池 善浩

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

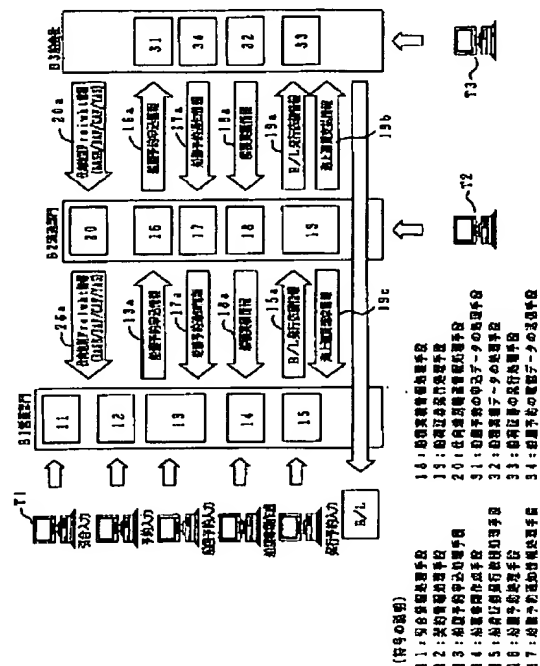
(74) 代理人 弁理士 畑 泰之

(54) 【発明の名称】 輸送業務におけるブッキング管理システム、ブッキング管理方法及びブッキング管理方法を記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 輸送業務において、営業部門、物流部門、船会社の三者間で情報を共有することで業務の効率化を図った輸送業務におけるブッキング管理システムを提供する。

【解決手段】 第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは夫々データの入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは通信回線で接続された輸送業務におけるブッキング管理のシステムであって、前記第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記船腹予約の申込データに基づき船積され、第3の制御部に入力された船積実績データを第2の制御部を介して第1の制御部に送信し、第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは同一のデータを持つようにしたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理システムであって、前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部に送信する船腹予約申込処理手段と、

第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データとに基づき船積された船積実績データを第2の制御部から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成手段と、

前記船積実績データに基づき第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼データを第2の制御部に送信する船荷証券発行依頼処理手段とが設けられ、

前記第2の制御部には、前記船腹予約の申込データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船腹予約処理手段と、

前記船積実績データを第3の制御部から受信すると共にこのデータを第1の制御部に送信する船積実績情報処理手段と、

前記船荷証券の発行依頼データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船荷証券発行処理手段とが設けられ、

前記第3の制御部には、前記船腹予約の申込データを第2の制御部から受信し管理する船腹予約の申込データの処理手段と、

前記第3の制御部から入力された船積実績データを第2の制御部に送信する船積実績データの処理手段と、

前記船荷証券の発行依頼データを第2の制御部から受信し処理する船荷証券の発行処理手段とが設けられていることを特徴とする輸出業務におけるブッキング管理システム。

【請求項2】 前記船腹予約の申込データに基づき予約された船腹予約確認データは、第3の制御部に入力され、前記第3の制御部にはこの船腹予約確認データを第2の制御部に送信する船腹予約確認データの送信手段が設けられ、

第2の制御部には、第3の制御部から前記船腹予約確認データを受信すると共に第1の制御部にこのデータを送信する船腹予約通知情報処理手段が設けられ、

第1の制御部では、前記船腹予約確認データを第2の制御部から受信した後前記船腹予約申込処理手段で処理されることを特徴とする請求項1記載の輸出業務におけるブッキング管理システム。

【請求項3】 前記第2の制御部には第3の制御部から送られてきた仕向地別輸送コストデータを処理する仕向

地別輸送情報処理手段が設けられていることを特徴とする請求項1又は2記載の輸出業務におけるブッキング管理システム。

【請求項4】 前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された引合データと前記第2の制御部からえられた仕向地別輸送コストデータに基づき海上運賃を計算する引合情報処理手段が設けられていることを特徴とする請求項3記載の輸出業務におけるブッキング管理システム。

10 【請求項5】 前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された契約データと前記引合情報処理手段で作成されたコストデータに基づき契約データの処理を行う契約情報処理手段が設けられていることを特徴とする請求項4記載の輸出業務におけるブッキング管理システム。

【請求項6】 前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とはそれぞれ同一のデータを有することを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の輸出業務におけるブッキング管理システム。

【請求項7】 第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理の方法であって、前記第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記船腹予約の申込データに基づき船積され、第3の制御部に入力された船積実績データを第2の制御部を介して第1の制御部に送信し、

30 第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とはそれぞれ同一のデータを持つようにしたことを特徴とする輸出業務におけるブッキング管理の方法。

【請求項8】 第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理システムのコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、

前記第1の制御部用のプログラムには、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部に送信する船腹予約申込工程と、

第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データとに基づき船積された船積実績データを第2の制御部から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成工程と、

前記船積実績データに基づき第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼デー

タを第2の制御部に送信する船荷証券発行依頼処理工程とが設けられ、

前記第2の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船腹予約処理工程と、前記船積実績データを第3の制御部から受信すると共にこのデータを第1の制御部に送信する船積実績情報処理工程と、

前記船荷証券の発行依頼データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船荷証券発行処理工程とが設けられ、

前記第3の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第2の制御部から受信し管理する船腹予約の申込データの処理工程と、

前記第3の制御部から入力された船積実績データを第2の制御部に送信する船積実績データの処理工程と、

前記船荷証券の発行依頼データを第2の制御部から受信し処理する船荷証券の発行処理工程からなる一連の処理をコンピュータに実行させるために前記各工程を記録したことを特徴とする輸出業務におけるブッキング管理方法を記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、輸出業務におけるブッキング管理の方法、この方法が書き込まれたコンピュータ上で読み出し可能な記録媒体及びそのシステムに係わり、特に、営業部門と物流部門とを持つ会社の船会社との情報交換、情報の一元化管理に好適な輸出業務におけるブッキング管理の方法及びそのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の業務に関しては船会社自体の古い体質等もあり、システム化が非常に遅れており、仮にシステム化されていたとしても輸出業務の一部のみをサポートするものでしかなかった。特開昭63-241656号公報及び特開昭62-263591号公報では複雑な海上運賃計算をデータベースとして蓄積することで、これを簡易化しているが、これらの技術は全体の輸出業務から見れば非常に限られた部分の業務の簡易化であり、輸出業務全体をフォローするものではない。また、特開昭63-251238号公報では同様に複雑な船積書類作成をデータベース化し、船積書類を自動作成する技術について説明しているが、これも同様に書類作成という一部の業務の中だけのシステム化であり、他の業務とはリンクしていない。

【0003】こうした従来技術では、各個別の業務の中だけはシステム化されていても他の業務とリンクしていないため、他の業務は手作業で行うか、もしくはシステム化されていても情報が一元化されていないために、同一データを多くの部門で二重、三重に入力するという問

題が発生している。こうした従来技術の欠点は、輸出業務自体が複雑であるために個々の業務が分業化され、全体の業務を理解している人が少ないために、欠点として認識されにくかったものと思われる。

【0004】また、仮に社内業務のシステム化にある程度成功したとしても、社外に目を向ければお互いに同じようなデータを持っており、それを相互に利用し合えば業務の大幅な効率化が実現できるにも拘わらず、自社のシステムは自社内だけで利用し、社外への連絡等は手作業、もしくは、別のシステムを利用するため、再度データを入力しなければならないという繁雑さがあった。

【0005】即ち、上記した従来の輸出管理業務では、営業部門においては個々の業務が独立してシステム化されているためデータの再利用ができるにも拘わらず、同じデータを二重入力、三重に入力しており、更に物流部門においても同様に営業部門とは独立して業務がシステム化されているため、両部門間でのデータの共有が行われていないため、一連の輸出業務が個々に独立してしまい、データの関連性が無くデータの再利用が行われていないという欠点があった。

【0006】更に、船会社とのデータ交換が殆ど行われていないことと、仮に行われていたとしても上記のような個々に独立したシステムとはデータの関連性が無いために、結局社外のシステムとインターフェースをとる業務では、再度データの入力を行っているため、社外のシステムとのデータの関連性が全く無くデータの再利用が行われていないという欠点があった。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、上記した従来技術の欠点を改良し、特に、輸出業務に係る一連の業務において、社内/社外での情報・データを共有して業務の効率化を以下の観点から行う新規な輸出業務におけるブッキング管理の方法及びそのシステムを提供するものである。

【0008】即ち、(イ) 営業部門の引合・契約・船腹予約・船積書類作成・B/L(船荷証券)発行依頼といった一連の業務において、データの二重入力を廃止し、上工程で入力した情報を下工程で有効利用を行う。

(ロ) 物流部門の船腹予約・船積実績管理・B/L発行・海上運賃支払といった一連の業務において情報の有効利用を行う。

(ハ) 船会社とのデータ交換を行い、上記業務における情報の有効活用を行う。

【0009】本発明の他の目的は、輸出業務におけるブッキング管理の方法が書き込まれたコンピュータ上で読み出し可能な記録媒体を提供するものである。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明は上記した目的を達成するため、基本的には、以下に記載されたような技術構成を採用するものである。即ち、本発明に係わる輸

10

20

30

40

50

出業務におけるブッキング管理システムの第1態様は、第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理システムであって、前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部に送信する船腹予約申込処理手段と、第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データとに基づき船積された船積実績データを第2の制御部から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成手段と、前記船積実績データに基づき第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼データを第2の制御部に送信する船荷証券発行依頼処理手段とが設けられ、前記第2の制御部には、前記船腹予約の申込データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船腹予約処理手段と、前記船積実績データを第3の制御部から受信すると共にこのデータを第1の制御部に送信する船積実績情報処理手段と、前記船荷証券の発行依頼データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船荷証券発行処理手段とが設けられ、前記第3の制御部には、前記船腹予約の申込データを第2の制御部から受信し管理する船腹予約の申込データの処理手段と、前記第3の制御部から入力された船積実績データを第2の制御部に送信する船積実績データの処理手段と、前記船荷証券の発行依頼データを第2の制御部から受信し処理する船荷証券の発行処理手段とが設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムであり、又、第2態様は、前記船腹予約の申込データに基づき予約された船腹予約確認データは、第3の制御部に入力され、前記第3の制御部にはこの船腹予約確認データを第2の制御部に送信する船腹予約確認データの送信手段が設けられ、第2の制御部には、第3の制御部から前記船腹予約確認データを受信すると共に第1の制御部にこのデータを送信する船腹予約通知情報処理手段が設けられ、第1の制御部では、前記船腹予約確認データを第2の制御部から受信した後前記船腹予約申込処理手段で処理される輸出業務におけるブッキング管理システムであり、又、第3態様は、前記第2の制御部には第3の制御部から送られてきた仕向地別輸送コストデータを処理する仕向地別輸送情報処理手段が設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムであり、又、第4態様は、前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された引合データと前記第2の制御部からえられた仕向地別輸送コストデータに基づき海上運賃を計算する引合情報処理手段が設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムであり、又、第5態様は、前記第1の制御部には、第1の制御部に入力された契約データと前記引合情

報処理手段で作成されたコストデータに基づき契約データの処理を行う契約情報処理手段が設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムであり、又、第6態様は、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とはそれぞれ同一のデータを有することを特徴とする輸出業務におけるブッキング管理システムである。

【0011】又、本発明に係る輸出業務におけるブッキング管理の方法の態様は、第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理の方法であって、前記第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記船腹予約の申込データに基づき船積され、第3の制御部に入力された船積実績データを第2の制御部を介して第1の制御部に送信し、第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とはそれぞれ同一のデータを持つようにしたものである。

【0012】又、本発明に係る輸出業務におけるブッキング管理システムのコンピュータプログラムを記録した記録媒体の態様は、第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは所定の回線を介して1つ又は複数のデータ入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理システムのコンピュータプログラムを記録した記録媒体であって、前記第1の制御部用のプログラムには、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部に送信する船腹予約申込処理工程と、第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データとに基づき船積された船積実績データを第2の制御部から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成工程と、前記船積実績データに基づき第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼データを第2の制御部に送信する船荷証券発行依頼処理工程とが設けられ、前記第2の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船腹予約処理手段と、前記船積実績データを第3の制御部から受信すると共にこのデータを第1の制御部に送信する船積実績情報処理工程と、前記船荷証券の発行依頼データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船荷証券発行処理工程とが設けられ、前記第3の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第2の制御部から受信し管理する船腹予約の申込データの処理工程

と、前記第3の制御部から入力された船積実績データを第2の制御部に送信する船積実績データの処理工程と、前記船荷証券の発行依頼データを第2の制御部から受信し処理する船荷証券の発行処理工程とが設けられているものである。

【0013】

【発明の実施の形態】営業部門B1／物流部門B2／船会社B3が相互に接続されデータの送受信が可能なシステムにおいて、船会社B3からFreight情報20aを受信し、営業部門B1に採算計算のベースとなる仕向地別のFreight情報20aを提供する仕向地別輸送情報処理手段20と、営業部門B1からの船腹予約申込情報13aを受信して適切な船会社B3に船腹予約申込情報16aを送信する船腹予約処理手段16と、船腹予約申込に対する回答である船腹予約通知情報17aを船会社B3から受信してこの情報17aを営業部門B1に送信する船腹予約通知情報処理手段17と、船会社B3からの実際の船積情報である船積実績情報18aを受信してこの情報18aを営業部門B1に送信する船積実績情報処理手段18と、B／Lの発行依頼情報15aを営業部門B1から受信し、適切な船会社B3にB／L発行依頼情報19aを送信し、かつ、海上運賃支払情報19bを適切な船会社B3に送信し、営業部門B1に海上運賃請求情報19cを送信する船荷証券発行処理手段19と、パイヤからの引合情報を管理する引合情報処理手段11と、契約情報を管理する契約情報処理手段12と、船腹予約申込情報13aを入力しこの情報13aを物流部門B2へ送信する船腹予約申込処理手段13と、船積書類作成処理を行う船積書類作成手段14、B／Lの発行依頼を入力しこの情報15aを物流部門B2へ送信する船積証券発行依頼処理手段15から構成され、営業部門B1における輸出業務の一連の作業である引合・成約・船腹予約・書類作成・B／L発行に関わるデータの一元化と集中管理を行い、かつ、物流部門での船腹予約・B／L発行・船積実績情報管理に関わるデータの一元化と集中管理を行い、更に、営業部門B1と物流部門B2と船会社B3との三者間でのデータの有効利用を行うことによって業務の効率化を実現する。

【0014】

【実施例】以下に、本発明に係わる輸出業務におけるブッキング管理の方法、この方法が書き込まれたコンピュータ上で読み出し可能な記録媒体及びそのシステムの具体例を図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、本発明に係わる輸出業務におけるブッキング管理システムの具体例を示すブロック図であって、図1には、第1の制御部（第1の端末）T1と第2の制御部（第2の端末）T2と第3の制御部（第3の端末）T3とからなり、前記第1の制御部T1と第2の制御部T2と第3の制御部T3とは夫々データの入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部T1と第2の制御部T2と第3の

制御部T3とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理システムであって、前記第1の制御部T1には、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データ13aを第2の制御部T2に送信する船腹予約申込処理手段13と、第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データ13aとに基づき船積された船積実績データ18aを第2の制御部T2から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成手段14と、前記船積実績データ18aに基づき第1の制御部T1に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼データ15aを第2の制御部T2に送信する船荷証券発行依頼処理手段15とが設けられ、前記第2の制御部T2には、前記船腹予約の申込データ13aを第1の制御部T1から受信すると共にこのデータ13aを第3の制御部T3に送信する船腹予約処理手段16と、前記船積実績データ18aを第3の制御部T3から受信すると共にこのデータ18aを第1の制御部T1に送信する船積実績情報処理手段18と、前記船荷証券の発行依頼データ15aを第1の制御部T1から受信すると共にこのデータ15aを第3の制御部T3に送信する船荷証券発行処理手段19とが設けられ、前記第3の制御部T3には、前記船腹予約の申込データ16aを第2の制御部T2から受信し管理する船腹予約の申込データの処理手段31と、前記第3の制御部T3から入力された船積実績データを第2の制御部T2に送信する船積実績データの処理手段32と、前記船荷証券の発行依頼データ19aを第2の制御部T2から受信し処理する船荷証券の発行処理手段33とが設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムが示されている。

【0015】又、前記船腹予約の申込データ16aに基づき予約された船腹予約確認データ17aは、第3の制御部T3に入力され、前記第3の制御部T3にはこの船腹予約確認データ17aを第2の制御部T2に送信する船腹予約確認データの送信手段34が設けられ、第2の制御部T2には、第3の制御部T3から前記船腹予約確認データ17aを受信すると共に第1の制御部T1にこのデータを送信する船腹予約通知情報処理手段17が設けられ、第1の制御部T1には、前記船腹予約確認データ17aを第2の制御部T2から受信した後前記船腹予約申込処理手段13で処理される輸出業務におけるブッキング管理システムが示されている。

【0016】又、前記第2の制御部T2には第3の制御部T3から送られてきた仕向地別輸送コストデータ20aを処理する仕向地別輸送情報処理手段20が設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムが示されている。又、前記第1の制御部T1には、第1の制御部T1に入力された引合データと前記第2の制御部T2からえられた仕向地別輸送コストデータ20aに基づき海上運賃を計算する引合情報処理手段11が設けられている輸出業務におけるブッキング管理システムが示され

ている。

【0017】さて、本発明のシステムでは、組織的には、営業部門と物流部門と船会社とからなり、これらの部門は、夫々第1の制御部T1、第2の制御部T2、第3の制御部T3を持ち、各制御部は各組織のデータを管理するように構成している。組織間で送受されるデータは、ネットワークを介したファイル転送プロトコルでデータ交換を行う。

【0018】以下に、本システムを構成する各手段について説明する。引合情報処理手段11では仕向地別Freight情報20aをベースに海上運賃の計算を行い、引合時の採算情報としての登録・管理を行う。又、契約情報処理手段12では上記引合のうちで成約に至ったものを抽出して契約情報とし追加の情報を入力することにより契約時の採算情報としての登録・管理を行う。

【0019】又、船腹予約申込処理手段13では上記契約情報から必要なものを抽出し追加の情報を入力することにより、船腹予約情報の登録・管理と物流部門への依頼を行う。又、船積書類作成手段14では、上記契約情報と船腹予約／通知情報をベースに船積書類の自動レイアウトを行い、さらに各種体裁を整えることで船積書類の迅速作成を行う。

【0020】又、船荷証券発行依頼処理手段15では、船積実績情報18aから必要なものを抽出し追加の情報を入力することにより、B/L発行依頼情報の登録・管理と物流部門B2への依頼を行う。又、船腹予約処理手段16では、営業部門からの船腹予約申込情報13aを受信して登録・管理する。次に適切な船会社B3を選択して追加の情報を入力し船会社に送信し、この情報を登録・管理する。

【0021】又、船腹予約通知情報処理手段17では、船会社からの船腹予約通知情報17aを受信して既に入力されている予約申込情報のデータを更新し登録・管理し、更に営業部門B1へ送信を行う。又、船積実績情報処理手段18では、船会社B3からの船積実績情報18aを受信し、更に追加情報を入力することにより営業部門B1に送信し、この情報の登録・管理を行う。

【0022】又、船荷証券発行処理手段19では、営業部門B1からのB/L発行依頼情報15aを受信し追加の情報を入力することにより船会社に送信し、この情報の登録・管理を行う。又、仕向地別輸送情報処理手段20では、船会社より仕向地別Freight情報20aを受信、登録・管理を行い、更に営業部門に送信を行う。

【0023】そして、営業部門は自分部門の各手段11～15により輸出の一連の業務である引合、契約、船腹予約、船積書類作成、B/L発行依頼といった業務を行い、物流部門もまた、各手段16～20により営業部門からの船腹予約申込の処理、船積実績の管理、B/L発行の処理といった業務を行う。更に、船会社は物流部門

からの船腹予約の処理と船積実績情報の管理、B/L発行、海上運賃の入金といった業務を行う。

【0024】このように、本発明は、第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とからなり、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは夫々データの入力装置と出力装置を備え、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは互いに通信回線で接続された輸出業務におけるブッキング管理の方法又はそのシステムであって、前記第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記船腹予約の申込データに基づき船積され、第3の制御部に入力された船積実績データを第2の制御部を介して第1の制御部に送信し、第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データを第2の制御部を介して第3の制御部に送信し、前記第1の制御部と第2の制御部と第3の制御部とは同一のデータを持つようにしたものである。

【0025】又、本発明の各手段をコンピュータプログラムで構成し、記録媒体に読み出し可能に記録しても良い。即ち、前記第1の制御部用のプログラムには、第1の制御部に入力された船腹予約の申込データを第2の制御部に送信する船腹予約申込処理工程13と、第1の制御部に入力された契約情報と前記船腹予約の申込データとに基づき船積された船積実績データを第2の制御部から受信し船積書類の作成を行う船積書類作成工程14と、前記船積実績データに基づき第1の制御部に入力された船荷証券の発行依頼データから船荷証券の発行依頼データを第2の制御部に送信する船荷証券発行依頼処理工程15とが設けられ、前記第2の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船腹予約処理工程16と、前記船積実績データを第3の制御部から受信すると共にこのデータを第1の制御部に送信する船積実績情報処理工程18と、前記船荷証券の発行依頼データを第1の制御部から受信すると共にこのデータを第3の制御部に送信する船荷証券発行処理工程19とが設けられ、前記第3の制御部用のプログラムには、前記船腹予約の申込データを第2の制御部から受信し管理する船腹予約の申込データの処理工程31と、前記第3の制御部から入力された船積実績データを第2の制御部に送信する船積実績データの処理工程32と、前記船荷証券の発行依頼データを第2の制御部から受信し処理する船荷証券の発行処理工程33とからなる一連の処理をコンピュータに実行させるために前記各工程を記録したコンピュータ上で読み出し可能な記録媒体として構成しても良い。

【0026】

【発明の効果】本発明は上述のように構成されたものであるから以下のような効果を奏する。第1の効果は、社内・社外で入力された情報を有効に再利用することで全

10

20

30

40

50

体の業務の効率化が実現できることと、入力ミス等による修正の手間を減らせることである。

【0027】その理由は、全てのデータが社内・社外で連携しており同じようなデータの二重入力、三重入力といった無駄な作業が不要になるからである。第2の効果は、過去のデータを有効活用することによって、業務の効率化ができることである。その理由は、過去に入力したデータを呼び出して修正が必要な部分（船積時期、数量、金額等）のみ入力を行うことで、入力ミスの低減と無駄な入力作業が不要になるからである。

【0028】第3の効果は、過去の実績の分析を行うことにより、今後の販売戦略等の立案に大いに役立つことである。その理由は、引合から実際の船積までの情報が一元管理されているために、ひとつの取引で考えれば、損益が各種の要素（市況、為替レート等）によってどう変化したかが把握でき、過去の同様の取引との比較もできるためである。また、特定の仕向国毎に分析すれば、マーケット毎の特徴も把握でき、しかも過去の情報と比較することにより、時系列での分析も可能なためであ

る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の輸出業務におけるブッキング管理システムの業務フローを示す図である。

【符号の説明】

- 11 引合情報処理手段
- 12 契約情報処理手段
- 13 船腹予約申込処理手段
- 14 船積書類作成手段
- 15 船荷証券発行依頼処理手段
- 16 船腹予約処理手段
- 17 船腹予約通知情報処理手段
- 18 船積実績情報処理手段
- 19 船荷証券発行処理手段
- 20 仕向地別輸送情報処理手段
- 31 船腹予約の申込データの処理手段
- 32 船積実績データの処理手段
- 33 船荷証券の発行処理手段
- 34 船腹予約の確認データの送信手段

〔図1〕

